

他院からCT検査を予約された方へ

依頼元医療機関で
ご記入下さい

様

____月____日____時____分の予約です

※検査当日は、予約の10分前までに青木病院の受付に来て下さい。

◆単純CT・造影CTの両方に共通する注意点

水・お茶は、直前まで飲んでも構いません。(牛乳・コーヒー・甘い飲料は不可)
腎臓や膀胱(泌尿器系)のCTの場合は、**検査30分前から排尿しないで下さい。**
検査当日はできるだけ金属や使い捨てカイロを身に着けないようにして下さい。

◆単純CT検査当日の食事と水分摂取について

腹部(おなか)のCTの場合、検査の**4時間前**から何も食べないで下さい。

◆造影CT検査当日の食事と水分摂取について

検査する部位に関係なく、午前の検査予約の場合、**朝食は食べないで下さい。**
午後の検査予約の場合、**朝食は軽めに済ませ、昼食は食べないで下さい。**
検査時の脱水状態を避けるため、検査予約の**2時間**くらい前に、必ず水かお茶を
200ミリリットル程度、飲んでおいて下さい。

◆造影CT検査前後の服薬について

事前に主治医と相談して、検査前にお薬を飲んでも大丈夫か確認して下さい。
「ビグアナイド系」糖尿病薬は、検査前後48時間ずつ休薬する必要があります。

◆検査終了後について

検査が終わった直後から、飲食は普段通りで問題ありません。
CT検査の画像は、当日のお会計の際にCD-ROMでお渡ししますので、
主治医(検査依頼をした医療機関)に提出して下さい。
造影剤を使用した場合は、注射後30分ほど病院内で休んでもらい、副作用などで
体調に問題がないか、看護師がチェックした後に終了となります。
造影剤をスムーズに排泄するために、検査後は水分を普段より多めに摂って下さい。

◆その他

検査は基本的に予約時間から開始しますが、緊急で検査が必要な患者がいる場合は
時間が遅れる場合があります。また、装置の故障や不具合によって検査ができない
場合は、代替りの日程を優先的にご案内します。予めご了承下さい。

造影CT検査にあたっての問診票

※造影検査を受けるにあたって、事前に主治医から説明を受けて下さい。

◆安全に検査を行うため、以下の質問にお答え下さい。（どちらかに○をつける）

- ・ 過去に造影剤を使って副作用が出た、体調が悪くなった——はい・いいえ
- ・ 喘息（ぜんそく）といわれたことがある——はい・いいえ
- ・ 何らかのアレルギーがある（食べ物・花粉症など）——はい・いいえ
- ・ ヨードに対する過敏症（アレルギー）がある——はい・いいえ
- ・ ビグアイド系の糖尿病薬を使用している——はい・いいえ
- ・ 甲状腺の機能亢進症・バセドウ病がある——はい・いいえ
- ・ 腎臓に重い障害や手術歴がある——はい・いいえ
- ・ 心臓にペースメーカーを入れている——はい・いいえ
- ・ （女性の方）現在妊娠中、または妊娠の可能性がある——はい・いいえ

質問の回答に「はい」がある場合は造影検査を実施できない可能性がありますので、検査を受ける前に主治医に相談して下さい。また、検査当日に普段通りの食事をとってしまった場合や、体調が悪い場合には、検査前にスタッフにお伝え下さい。

造影CT検査にあたっての同意書

あなたの現在の状態には造影検査が必要であること、副作用の可能性があることの説明を受け、理解したうえで以下の同意書の□にレ点を入れ、署名して下さい。

この同意書は、今回の造影検査にのみ有効です。

同意書に署名しても、実施前であれば、いつでも撤回（キャンセル）できます。

どちらかにレ点

同意します

私は造影検査および造影剤の使用に関して、検査の必要性・副作用・緊急時の対応について説明を受け、造影CT検査を受けることに同意します。

同意しません

私は造影検査および造影剤の使用に関して、検査の必要性・副作用・緊急時の対応について説明を受けましたが、造影CT検査を受けることに同意しません。造影剤を使用しないことによる診断精度の低下についても承知します。

どちらかに○

西暦_____年____月____日（本人・代理人）氏名_____

造影剤の副作用について

造影剤は体への影響が小さいお薬ですが、副作用は1~3%の患者さんに出現します。アレルギー体質の方は副作用の生じる可能性が3~4倍高くなり、喘息の方は更に高くなります。副作用を分類すると次のようになります。

○**検査直後の副作用**：検査後10分以内出現することがほとんどです。

- ・**軽い副作用**：吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで、特別な治療を要しません。このような副作用の起こる確率は1~3%です。
- ・**重い副作用**：呼吸困難・意識障害・血圧低下などで、治療が必要です。後遺症がのこる可能性があり、入院や手術が必要なこともあります。このような副作用の起こる確率は0.1%です。
- ・他の一般的な市販薬や処方薬と同じく、非常に稀ですが、病状・体質によっては0.0005%~0.001%の確率でショック状態となり、死亡する例があります。

○**腎障害に伴うもの**

腎障害に伴い、むくみ・血圧上昇・尿量低下が出現する可能性があります。

○**遅発性副作用**

検査後数時間から数日してから、頭痛・じんましん・かゆみ・むくみ、倦怠感が出現することがあります。通常は重症化せず、経過観察のみで済みます。

○**その他**

造影剤投与中は体が熱く感じるがありますが、一時的なもので心配ありません。造影剤を注入する際、まれに血管の外（皮膚の中）に造影剤が漏れ、注射部位が腫れて、痛みを伴うことがあります。直後では異常がなくても数時間後に腫れてくる場合があります。腫れは通常1~2日で吸収されますので心配ありません。漏れた量が多い場合には、処置が必要になることがあります。

- 検査中、身体の違和感や異常があれば、ためらわず、すぐに教えて下さい。
- 造影剤投与時は担当スタッフが見守っており、何かあればすぐに対処します。
- 万が一、重い副作用が出現した場合には、在院する医師が最善の治療を行います。
- 病院を出てから、あるいは帰宅してから副作用の症状が現れた場合、この用紙を見ながら当院まで連絡して下さい。（平日昼間は0495-24-3005、夜間・休日は0495-23-1119に電話し、「〇月〇日の造影検査の後で具合が悪くなった」とお伝え下さい）